



水土里情報を活用した農業振興地域の管理事例を紹介します。

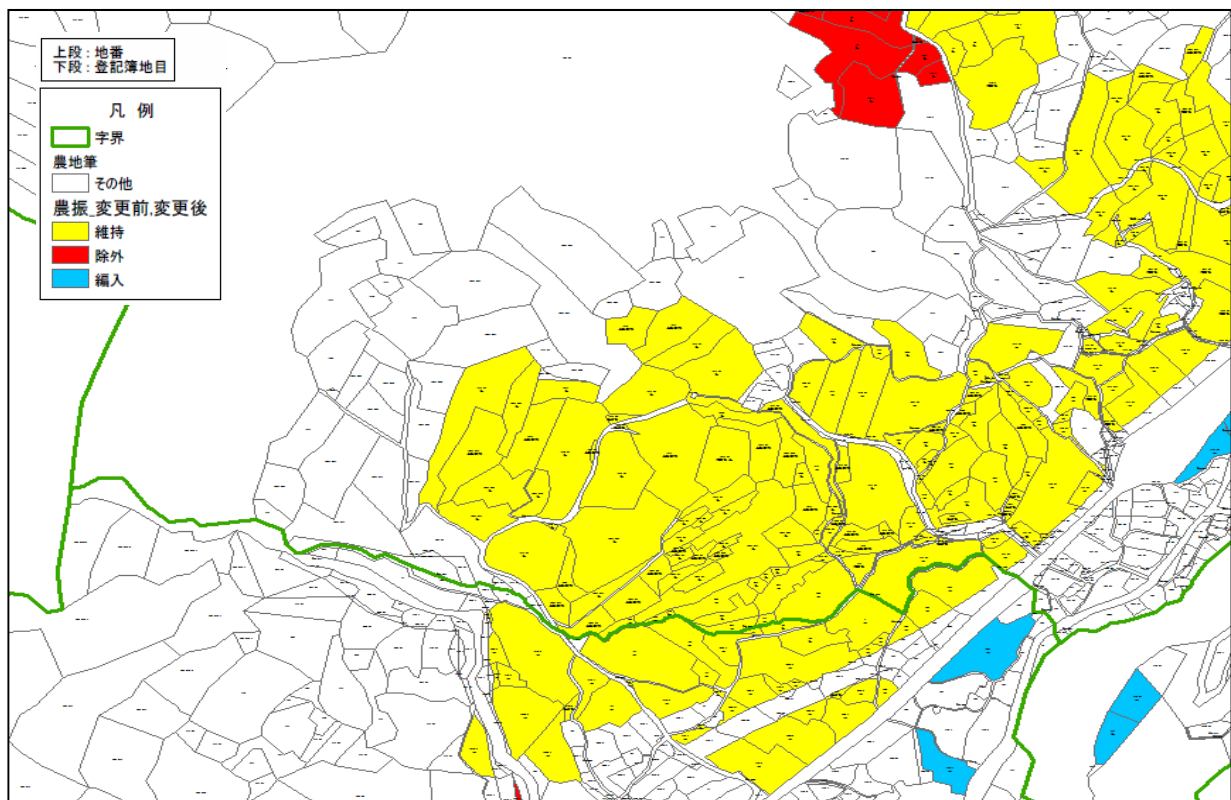
(1/2)

今回紹介する団体：青森県中津軽郡 西目屋村 ～世界遺産と水源の里～

取組概要

内容：村が管理する土地台帳情報を水土里情報利活用促進事業で整備した農地筆の地図情報と突合を行い農業振興地域の維持・除外・編入を図化。農業振興地域整備促進協議会で示し農業振興地域整備計画の見直し及び農業振興地域農用地図面作成に活用。

- 経緯：①村が管理する土地台帳情報は、農業委員会が管理する台帳システム（平成14年～）にて管理されており電子ファイル化されていた。
- ②水土里情報利活用促進事業により農地筆の地図情報が整備済みであったことから、村担当者からの相談を受け、水土里ネット青森より、土地台帳情報と地図情報の突合を提案。
- ③農業振興地域対象農地について突合を実施（水土里ネット青森が平成25年から実施）。協議図面及び農振図面を出力（不突合情報については最新の地籍図の提供を受け農地筆の確認、訂正）。



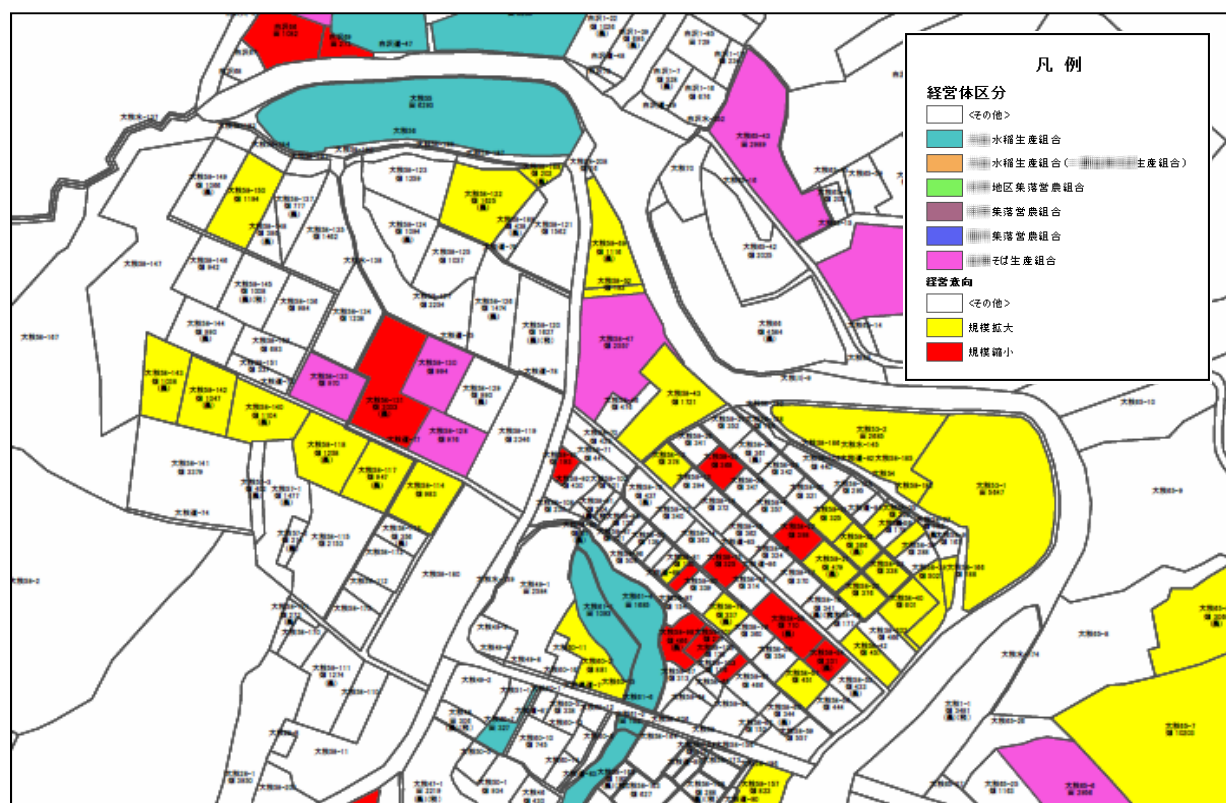
農振農用地変更図面

期待される効果

- ①農業振興地域整備計画は概ね5年ごとに定期見直しを実施されるが、今回の整備済みのデータ更新を行うことで次回の修正作業が容易となる。
- ②農業振興地域の所在や状況を的確に把握するための現地確認作業や変更時に必要となる位置図等の申請書類作成作業等の効率化につながる。

今後の活用予定

地域の現況を把握するための農業者情報(個人・集落営農組織)に加え、経営意向(拡大・縮小等)や集落懇談会等の意見を地図情報へ反映し、農地利用集積計画図を作成し、人・農地プラン集積計画へ活用。



現況農地利用図

■お問い合わせ先

青森県土地改良事業団体連合会 水土里情報業務推進部

017-723-2406

農林水産省農村振興局整備部設計課計画調整室(細川、溝添)

03-6744-2212(直通)